

相武台自治会だより

第52号
令和7年1月18日発行

相武台神社で元旦祭が行われました

1月1日（水）に、相武台神社境内にて、新たな良き年を祈願する元旦祭の神事が執り行われました。

早朝から鳥居前に並んでいた初詣の方々には一旦お待ち頂いて、神前にて座間神社の宮司による新年の祝詞奏上と祈願の後、氏子代表、関係団体代表、そして座間市長、議会議員が玉串礼拝を行って、式典は終了致しました。

その後、神殿から広場に場所を移して、参加者全員で皆様の本年益々のご健勝と、地域の発展を願って、御酒の杯を傾けました。

中断していた初詣の方々は、境内に入り切れない位に増えておりましたが、元日の厳かな式典とあって、特にトラブルもなく、その後にスムーズにお参りをしました。



地区社協主催の「敬老ふれあい会食会」が開催されました

12月8日（日）に、老人憩いの家にて、地区社協主催の77歳以上の方を対象とした「敬老ふれあい会食会」が開催され、総勢約50名の方が参加されました。

初めの会食は、お惣菜、ご飯以外にも、女性役員や民生委員の方々が手作りした汁物や酢の物などが盛り沢山に彩られ、和やかな雰囲気の中で、話も大いに弾んでいました。なお、ご飯は自治会で備蓄している防災食を試食して頂きました。

食後は、婦人会の案内役でのステージとなり、お口の体操から始まって、途中の有志による座間音頭の踊りや、ハーモニカ演奏の飛び入りをはさんで、10曲以上の思い出の歌を、全員が声を出して、唄い合いの大合唱をして楽しみました。

最後は、ポインセチアやシクラメンなどの季節の花の鉢植えを景品としたビンゴゲームを行い、ビンゴの方からご自分の好きな花を探して、お持ち帰り頂きました。

